

市復旧計画の進捗状況について(平成27年3月31日現在)

○ポイント

- 1 平成 26 年度末契約事業費の全体事業費における進捗率は 100%となっており、すべての工事の契約が完了している状況となっている。
- 2 平成 23 年度からの 4 年間では総事業費で約 726 億円の事業に取り組んできたところであり、すべての復旧事業の完了に向け、今後も引き続き、計画に基づき進捗管理を図っていく。

1 計画の概要

(1) 趣旨

社会基盤等の復旧は、復興の礎となるものであることから、平成25年度までの概ね3年間で完了させ、本市の復興につながるよう、被災した社会基盤等の復旧に係る工程等を示したもの。

(2) 策定期期

平成23年10月

2 進捗状況

(1) 小区分別（施設等）の進捗状況

復旧計画に基づく小区分ごとの進捗状況は、全124区分中122区分（約98%）で既に復旧が「完了」しており、残り2区分（約2%）において、一部の工事が平成27年度に繰り越すなど、計画と比較して「遅延」している状況となっている。

単位：区分

進捗状況	小区分数	構成比
完了	122	98%
遅延	2	2%
合計	124	100%

(2) 契約事業費ベースの進捗状況

契約事業費ベースでの進捗状況は、平成26年度末現在で 100%となっており、すべての工事の契約が完了している状況となっている。

単位：百万円

区 分		23年度	24年度	25年度	26年度～	合計	
計 画	事業費	単年度	38,099	12,550	10,734	28	61,411
		累計	38,099	50,649	61,383	61,411	61,411
	進捗率	単年度	62%	20%	17%	1%	100%
		累計	62%	82%	99%	100%	100%
実 績	事業費	単年度	27,092	27,988	10,397	7,074	72,551
		累計	27,092	55,080	65,477	72,551	72,551
	進捗率	単年度	37%	39%	14%	10%	100%
		累計	37%	76%	90%	100%	100%

(3) 遅延している区分及び箇所等

ア 排水機場

(ア) 下仁井田排水機場災害復旧工事（四倉）

復旧・復興事業の増加により、慢性的な作業員不足や資材調達の遅れが生じるとともに、同地区で行われている県の圃場整備事業との工程調整に不測の期間を要したものの。平成27年5月27日にしゅん工した。

イ 河川

(イ) 御堂川護岸復旧工事（錦）

全国に数台しかない特殊機材を使用しているが、震災後の需要増により、機材確保に期間を要したものの。平成27年6月にしゅん工する予定。

(ロ) 横内川護岸復旧工事（久之浜）

国庫負担金の交付決定に期間を要し、契約に遅れが生じたことや、震災復旧・復興工事の集中により作業員の確保が困難となったものの。平成27年6月にしゅん工する予定。

(4) まとめ

復旧事業の総事業費については、当初計画では約614億円と見込んでいたが、その後の市民ニーズを踏まえた復旧手法の変更や、資材・労務単価の上昇などの変動要因により、約112億円増額となり、平成26年度末現在では約726億円となっている。

また、平成26年度末における進捗状況については、小区分別（施設等）では124区分のうち122区分が完了（進捗率：98%）しており、残り2区分についても、契約はすべて完了するなど、概ね計画どおりに進捗しているところである。

なお、未しゅん工となっている工事についても、6月までの完了を目指して取り組んでいくこととする。

3 今後の進め方

すべての復旧事業の完了に向け、今後も引き続き、復旧計画に基づき進捗管理を図っていくこととする。

【事務担当】行政経営課行政経営係 電話 22-1216